

## 令和4年度 長崎歯科衛生士専門学校自己評価（歯科衛生士学科）[年度末]

長崎歯科衛生士専門学校教職員による無記名アンケート方式  
 ※各質問項目に対して以下の4段階で評価したものを集計し、  
 その平均値を評価基準として採用した。

令和4年度  
 平均値

- 4：十分に達成している  
 3：おおむね達成している  
 2：どちらかという達成されていない  
 1：ほとんど達成されていない

【3.7】

学校教育基本方針（教育理念）	課題と今後の改善方策
<p>医療人として幅広い教養と倫理観を持ち、口腔保健に関する高度な専門知識と技術を有し、国民の歯科保健増進に寄与することができる人間性豊かな「人に優しい歯科衛生士」の育成を目指す</p>	<p>コロナ禍であり医療機関の役割の評価が高くなっているこの時期、教育理念を自覚した行動を心がけるよう指導したい。</p>
<p>1. 学校教育目標</p>	
<p>1. 幅広い知識と豊かな人間性を有する歯科衛生士を育成する</p> <p>2. 高い倫理観を持つ歯科衛生士を育成する</p> <p>3. 高度化する歯科医療と社会環境の変化に対応し得る歯科衛生士を育成する</p> <p>4. 資質向上のため生涯学び続ける意欲を持つ歯科衛生士を育成する</p> <p>5. 多職種と連携し健康増進に貢献できる歯科衛生士を育成する</p> <p>6. EBMに基づいた科学的な判断のできる歯科衛生士を育成する</p>	<p>教育目標に沿う教育課程編成ならびに教育目標を達成するために、各講義における学生の疑問に対応できる体制を整えたい。</p>
<p>2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画</p>	
<p>1. 歯科衛生士国家試験合格率100%および就職率100%を達成するとともに優秀な人材確保に努める</p> <p>2. カリキュラムを充実させ、即戦力となる人材を育成する</p> <p>3. 健康管理や時間厳守といった自己管理ができる人材を育成する</p> <p>4. コミュニケーション能力の高い人材を育成する</p> <p>5. 問題を見出し解決する能力を持つ人材を育成する</p>	<p>全国的な国家試験合格率低下の中で、100%合格を達成するための方策を検討したい。</p>

3. 評価項目の達成及び取組状況

大項目	評価項目	評価		課題と今後の改善方策
		前期	年度末	
(1)教育理念目標	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	4.0	教育理念目標は、学生や保護者、業界のニーズに向けた方向性となるよう連携を取りながら検討したい。
	・学校における職業教育の特色は何か	3.8	3.9	
	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.5	3.7	
	・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生や保護者等に周知されているか	3.7	3.7	
	・教育目標、育成人材像は学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6	3.6	
(2)学校運営	・目的に沿った運営方針が策定されているか	4.0	4.0	問題解決につながる方策を検討しながら、健全な学校運営を図りたい。
	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4.0	4.0	
	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.7	3.6	
	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4.0	4.0	
	・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4.0	4.0	
	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.7	3.8	
	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.0	3.9	
	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.6	3.5	
(3)教育活動	・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4.0	4.0	教育の質の低下がないよう、評価体制を整えながら取り組んでいきたい。
	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確化にされているか	4.0	4.0	
	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8	3.8	
	・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3.8	3.8	
	・授業評価の実施、評価体制はあるか	4.0	3.8	
	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.0	3.9	
	・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4.0	4.0	
	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.0	3.9	
	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.8	3.8	
	・関連業界等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか	3.8	3.7	
	・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	3.6	3.5	
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.6	3.3		
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか	3.8	3.8	歯科衛生士という国家資格の魅力を、卒業生の活躍をピックアップし伝えていきたい。退学の原因を追究し、問題点に対し早目に取り組むたい。
	・資格取得率の向上が図られているか	3.8	3.6	
	・退学率の低減が図られているか	2.8	2.7	
	・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.5	3.3	
	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.5	3.2	

大項目	評価項目	評価		課題と今後の改善方策
		前期	年度末	
(5) 学生支援	・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	4.0	物価高に関する調査を行い、日本学生支援機構の支援制度を活用した。課外活動については感染症の影響を認めなかったが、終焉を期待し積極的に取り組みたい。
	・学生相談に関する体制は整備されているか	4.0	3.9	
	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0	3.9	
	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0	3.9	
	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4.0	3.9	
	・学生の生活環境への支援は行われているか	3.8	3.7	
	・保護者と適切に連携しているか	3.9	3.8	
	・卒業生への支援体制はあるか	3.6	3.8	
	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.8	3.8	
(6) 教育環境	・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4.0	3.8	学内設備の整備を行った。防災面の講義に加え、避難訓練の実施計画を立てた。
	・学内外の実習施設について十分な教育体制の整備をしているか	3.7	3.5	
	・防災に対する体制は整備されているか	3.3	3.1	
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は適正に行われているか	3.9	3.7	歯科衛生士の魅力を伝えるところから、定員確保につながるよう努めたい。
	・学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.8	3.8	
	・学納金は妥当なものとなっているか	3.9	3.9	
(8) 財務 [3.9]	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.7	3.6	財務基盤の安定のためにも定員確保に努めたい。
	・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8	3.8	
	・財務について会計監査が適正に行われているか	4.0	4.0	
	・財務情報公開の体制整備はできているか	4.0	4.0	
(9) 法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	4.0	問題点の改善に向け、関係者との連携を目指したい。
	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9	3.9	
	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5	3.5	
	・自己評価結果を公開しているか	4.0	4.0	
(10) 社会貢献 地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3.3	2.9	感染対策に注意しながら、少しずつ開放していきたい。
	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3	3.0	
	・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.3	3.0	

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

国家試験合格に向けた学力向上がいちばんの目標である。設備を整えたことで、今後の学力向上に繋がることを期待する。  
また、歯科衛生士の魅力を周知することで、歯科衛生士を目指す学生が増え、切磋琢磨することで質の向上に繋がるよう努めたい。